

## 第 103 回運営委員会議事録

日時：令和 2 年 3 月 16 日（月）～令和 2 年 3 月 18 日（木）

委員：石上委員、小磯委員、小林委員、菅原委員、関戸委員、田中委員長、  
中村委員、西委員、松田委員

新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年 3 月 19 日に予定していた運営委員会の開催を中止し、書面審議により運営委員会を開催した。

議事録は以下のとおり。

### 【議題】

#### 1. 令和 2 年度事業計画及び予算（案）について 【付議】

- ・ 資料 1－1 令和 2 年度全国健康保険協会事業計画及び予算（案）
- ・ 資料 1－2 令和 2 年度全国健康保険協会事業計画（案）新旧対照表【健康保険事業関係】
- ・ 資料 1－3 令和 2 年度全国健康保険協会事業計画（案）新旧対照表【船員保険事業関係】
- ・ 資料 1－4 令和 2 年度予算（案）の前年度比較
- ・ 資料 1－5 令和 2 年度健康保険勘定予算（業務経費及び一般管理費の内訳）（案）

本議題は付議事項であることから、運営委員賛否を伺った。詳細は以下のとおり。

○ 賛成 9 人 、 反対 0 人

#### ○ 石上委員の意見

事業計画（案）については、戦略的保険者機能を発揮する上で特に特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上が重要であるが、平成 30 年度における業績に関する評価では、「被扶養者の特定健診受診率は KPI 未達成であり、高水準の支部の取組について横展開を図るなど、一層の取組を強化されたい」と厚生労働大臣から指摘されているところであり、これを踏まえてより積極的な取組を展開されたい。

また、社会保険の適用拡大など今後も業務量の増加が見込まれる中で協会の職員が健康に働き続けられるよう、RPA の支部への展開やペーパーレス化の推進、テレビ会議システムの導入など、働き方改革に資する業務効率化をより一層促進することで、加入者へのサービス向上に向けて本来あるべき保険者機能を確実に発揮できる運営体制を早期に構築されたい。

予算（案）については、累積収支への繰入額が増えて準備金残高がさらに増

えることとなるが、令和4年度以降団塊の世代が順次後期高齢者に移ることに伴う保険料収入や保険給付費への影響も踏まえて、準備金の上限のあり方について議論を今後深めるべきである。

○ 関戸委員の意見

Ⅲ. (2) ⑧の ii) 外部有識者を活用した調査研究の実施について、とても重要な新規事業であるので、各支部のパイロット事業の調査結果等も活用しながら、しっかりとした調査研究を実施いただき、着実に政策提言に役立てていただきたい。また、このようなデータ活用をした医療保険制度改革等について、安藤理事長に各所でご発言いただき、感謝する。新型コロナウイルスの影響で、我が国の医療制度・健康保険制度に対し、良くも悪くも注目が集まっており、協会けんぽとしては、是非とも、この機を生かして、医療費の抑制に向けて邁進していただきたい。

○ 西委員の意見

本部・各支部の連携で各 KPI を達成していただきたい。特に私達被保険者にとって特定保健指導の実施は良い事だと思うので、ぜひ実施率向上を図ってほしい。アクションの強化だと思う。

2. 定款変更について 【付議】

・資料2 市ヶ谷事務室の移転に伴う定款の変更について（案）

本議題は付議事項であることから、運営委員賛否を伺った。詳細は以下のとおり。

○ 賛成 9人 、 反対 0人

○ とくに意見なし

### 3. パイロット事業等について

- ・資料3-1 令和2年度パイロット事業・支部調査研究事業について
- ・資料3-2 令和2年度支部保険者機能強化予算について

#### 【委員の主な意見】

##### ○ 石上委員の意見

パイロット事業等については、令和2年度事業計画（案）において、その効果検証によりエビデンスが得られた事業については速やかに全国展開を行うとされているところであるが、各事業のより詳細な内容についても、運営委員会に随時報告していただきたい。

##### ○ 小磯委員の意見

特定保健指導の効果的な取組の3件については、それぞれ非常に興味深い取組みと思った。特にテレワークが普及しつつある現状で、富山支部の遠隔面談はよいと思った。

##### ○ 田中委員長の意見

応募する支部が増えるよう期待する。

##### ○ 松田委員の意見

岐阜、三重、沖縄の研究は医療費との関連もみるべきではないか。静岡の研究は国保、健保、後期、労災、自賠責などのデータもあわせて分析をしないと全体像が見えにくいのではないか。

### 4. 協会けんぽの適用状況等の分析について

- ・資料4-1 協会けんぽの適用状況の分析
- ・資料4-2 協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況（平成30年度）

#### 【委員の主な意見】

##### ○ 石上委員の意見

支部間の料率の格差は市町村国保と比べると差が小さく、各支部が格差の縮小に向けて努力していることが理解できる。しかし、激変緩和措置の解消に伴い格差が拡大してきていることも事実であり、そのことを全支部で共有しながら、各支部の自主的な取組を促すとともに、地域の医療提供体制への働きかけを積極的に取り組むことが求められる。

## 5. その他

- ・資料5 令和2年度運営委員会の主な議題・スケジュール（案）
- ・資料6 ジェネリック医薬品使用促進緊急対策について
- ・資料7 東日本大震災及び令和元年台風第19号に係る一部負担金免除等の取扱いについて
- ・資料8 関係審議会の動向と意見発信の状況
- ・資料9 保険財政に関する重要指標の動向
- ・参考資料 第7回協会けんぽ調査研究フォーラム（案内）

### 【委員の主な意見】

#### ○ 西委員の意見

ジェネリック医薬品使用促進について、やはり医療機関等へのアプローチが一番だと思う。これもまた研修会など実施してアクションを強化していただきたい。